



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東
コード番号 6616 URL <https://www.torex.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 木村 岳史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営企画室 室長 (氏名) 前川 貴 TEL 03-6222-2875
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,251	△2.4	365	64.1	340	—	83	17.4
2024年3月期第1四半期	6,404	△25.5	222	△87.2	△12	—	70	△94.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 458百万円 (57.3%) 2024年3月期第1四半期 291百万円 (△81.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	7.57	—
2024年3月期第1四半期	6.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	39,465	20,699	52.4	1,881.89
2024年3月期	36,636	20,552	56.1	1,868.50

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 20,699百万円 2024年3月期 20,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	28.00	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	8.7	1,000	—	1,000	—	700	—	63.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	11,554,200株	2024年3月期	11,554,200株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	554,763株	2024年3月期	554,563株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	10,999,602株	2024年3月期1Q	10,997,781株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済及び日本経済は、世界的なインフレ圧力は緩和しつつあるものの、継続する地政学リスクや中国経済の停滞などの影響から、経済の先行き不透明感が継続しております。

当社グループが属するエレクトロニクス市場におきましては、コロナ特需の反動減や中国市場の先行き不透明感などの影響から、民生機器市場、産業機器市場を中心に幅広い分野で需要の停滞が継続しております。

このような環境のなかで、当社グループは、経営理念にある「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」ため、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- ・製品企画・開発部門において、マーケットインの発想に立脚した、差別化のできる高付加価値な汎用製品及びターゲット市場として注力する車載機器・産業機器に向け、特長ある製品を迅速に市場へ投入していくため、企画・開発活動を進めました。
- ・品質向上とコスト削減を両立させるべく、製品企画段階からのコスト分析の徹底、生産計画の効率化を進めるとともに、協力会社や製造子会社との協力体制を深め、同業他社に比して競争力のある製造コストと安定供給、納期対応の実現を進めました。
- ・顧客訪問に加え、オンラインも活用しながら、各地域に密着した営業活動を継続し、顧客の要望や製品企画への迅速かつ柔軟な対応と営業基盤の維持に努めました。
- ・製品需要に対しては、将来的な半導体需要に備え、生産力を確保するべく設備投資を実施し、一方で、原材料価格の高騰に対しては、製品販売価格の値上げを進めております。
- ・超低損失と低価格の両立が期待されるβ型酸化ガリウムを使用したパワーデバイスの開発を行う株式会社ノベルクリスタルテクノロジーに対して出資を行っており、早期の製品化に向けて共同研究開発を進めております。
- ・グループ収益の最大化につなげるため、フェニテックセミコンダクター株式会社とのシナジー効果を高め、共同プロジェクトを推進しました。
- ・フェニテックセミコンダクター株式会社においては、製品の長期・安定供給体制と競争力のある製品づくり、及び生産性向上に加え、半導体需要の高まりに対応するため、岡山第1工場・鹿児島工場の投資を実施しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高62億51百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益3億65百万円（前年同期比64.1%増）、経常利益3億40百万円（前年同期は経常損失12百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益83百万円（前年同期比17.4%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①日本

当第1四半期連結累計期間における日本事業は、主に産業機器分野向けの販売が減少しましたが、棚卸評価損の戻りが発生したことなどにより、売上高は43億26百万円（前年同期比6.0%減）、セグメント利益は2億87百万円（前年同期はセグメント利益1百万円）となりました。

②アジア

当第1四半期連結累計期間におけるアジア事業は、主に産業機器分野向けや車載機器分野向けの販売が増加したことにより、売上高は14億37百万円（前年同期比15.8%増）、セグメント利益は22百万円（前年同期はセグメント損失10百万円）となりました。

③欧州

当第1四半期連結累計期間における欧州事業は、主に産業機器分野向けの販売が減少したことにより、売上高は3億64百万円（前年同期比12.1%減）、セグメント利益は25百万円（前年同期比52.0%減）となりました。

④北米

当第1四半期連結累計期間における北米事業は、主に産業機器分野向けの販売が減少したことにより、売上高は1億23百万円（前年同期比16.4%減）、セグメント損失は7百万円（前年同期はセグメント利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は248億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億8百万円増加いたしました。増加の主な要因は、運転資金として追加借入39億円を実施したことなどによるものであります。

固定資産は146億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億21百万円増加いたしました。増加の主な要因は、当社子会社において製品の増産体制を構築すべく新規設備等を導入したことにより、有形固定資産が7億90百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、394億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億29百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は77億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億47百万円増加いたしました。増加の主な要因は、当社子会社において運転資金として短期借入金19億円を借入れたことなどによるものであります。

固定負債は109億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億35百万円増加いたしました。増加の主な要因は、当社において運転資金として追加借入20億円を実施した結果、長期借入金が10億99百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、187億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億82百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は206億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億46百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は52.4%（前連結会計年度末は56.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月14日の「2024年3月期 決算短信[日本基準]（連結）」にて発表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,226,032	11,237,194
受取手形及び売掛金	4,751,294	4,970,773
棚卸資産	7,527,153	7,708,581
その他	1,142,708	940,535
貸倒引当金	△3,480	△4,924
流動資産合計	22,643,707	24,852,160
固定資産		
有形固定資産	10,145,060	10,935,593
無形固定資産	759,675	691,823
投資その他の資産		
その他	3,092,617	2,991,461
貸倒引当金	△4,919	△5,228
投資その他の資産合計	3,087,698	2,986,232
固定資産合計	13,992,433	14,613,649
資産合計	36,636,141	39,465,810
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	650,238	898,785
短期借入金	—	1,900,000
1年内償還予定の社債	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	2,090,292	2,571,238
未払法人税等	73,147	54,187
契約負債	8,276	56,139
賞与引当金	492,732	160,334
その他	2,719,075	2,040,549
流動負債合計	6,033,762	7,781,234
固定負債		
社債	100,000	—
長期借入金	9,124,078	10,223,714
退職給付に係る負債	393,827	385,034
株式給付引当金	95,996	103,309
その他	335,572	272,729
固定負債合計	10,049,475	10,984,787
負債合計	16,083,237	18,766,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,967,934	2,967,934
資本剰余金	8,420,205	8,420,205
利益剰余金	8,504,353	8,276,331
自己株式	△706,062	△706,062
株主資本合計	19,186,430	18,958,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,344	299,390
為替換算調整勘定	912,010	1,108,857
退職給付に係る調整累計額	341,118	333,131
その他の包括利益累計額合計	1,366,473	1,741,379
純資産合計	20,552,904	20,699,788
負債純資産合計	36,636,141	39,465,810

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,404,644	6,251,608
売上原価	4,767,889	4,400,681
売上総利益	1,636,755	1,850,927
販売費及び一般管理費	1,414,095	1,485,555
営業利益	222,659	365,371
営業外収益		
受取利息及び配当金	14,037	26,651
受取賃貸料	12,021	11,955
その他	6,214	11,240
営業外収益合計	32,273	49,847
営業外費用		
支払利息	33,520	39,926
為替差損	231,363	32,068
支払手数料	2,000	2,000
その他	565	605
営業外費用合計	267,449	74,600
経常利益又は経常損失(△)	△12,516	340,618
特別利益		
補助金収入	126,320	—
保険解約返戻金	—	12,169
特別利益合計	126,320	12,169
特別損失		
固定資産除売却損	3,129	4,307
固定資産圧縮損	112,262	—
特別損失合計	115,391	4,307
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,587	348,480
法人税等	△72,554	265,145
四半期純利益	70,966	83,334
親会社株主に帰属する四半期純利益	70,966	83,334

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	70,966	83,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,884	186,045
為替換算調整勘定	234,533	196,846
退職給付に係る調整額	△2,345	△7,986
その他の包括利益合計	220,303	374,905
四半期包括利益	291,269	458,240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,269	458,240

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

これらによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	413,435千円	498,272千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高 (注2) 顧客との契約から生じる 収益	4,601,902	1,241,104	414,385	147,253	6,404,644	—	6,404,644
外部顧客への売上高	4,601,902	1,241,104	414,385	147,253	6,404,644	—	6,404,644
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,331,917	72,930	10,817	5,412	1,421,078	△1,421,078	—
計	5,933,819	1,314,034	425,202	152,666	7,825,723	△1,421,078	6,404,644
セグメント利益又は損失 (△)	1,633	△10,701	52,587	118	43,638	179,021	222,659

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額179,021千円には、セグメント間取引消去179,021千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域（デザイン・イン・ベース）の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位：千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	4,840,110	775,123	591,462	197,947	6,404,644

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高 (注2) 顧客との契約から生じる 収益	4,326,577	1,437,736	364,134	123,159	6,251,608	—	6,251,608
外部顧客への売上高	4,326,577	1,437,736	364,134	123,159	6,251,608	—	6,251,608
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,615,294	91,888	7,555	9,722	1,724,461	△1,724,461	—
計	5,941,872	1,529,625	371,689	132,882	7,976,070	△1,724,461	6,251,608
セグメント利益又は損失 (△)	287,021	22,698	25,261	△7,576	327,405	37,965	365,371

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額37,965千円には、セグメント間取引消去37,965千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域（デザイン・イン・ベース）の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位：千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	4,544,471	996,990	469,610	240,537	6,251,608